

[030] 語文研究表紙奥付等

<http://hdl.handle.net/2324/10239>

出版情報：語文研究. 30, 1971-03-31. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：



◇学会集報

▼講義題目 昭和45年度第二学期

大学院	国語学特研(古訓点解説)	春日	教授
大学院	全 演習(万葉集巻四)	春日	教授
大学院	全 特講(近代の文法論)	春日	教授
大学院	全 講義(概論—文字および仮名遣い—)	春日	教授
大学院	全 演習(近世語)	春日	教授
大学院	全 特講(韻史—アクセントを中心に—)	奥村助教	教授
大学院	全 講義(方言学)	奥村助教	教授
大学院	全 演習(明治の小説論)	中村	教授
大学院	全 講義(近世歌論史)	中村	教授
大学院	全 演習(其角雑談集)	中村	教授
大学院	全 特研(賀茂保憲女集)	今井助教	教授
大学院	全 演習(源氏物語夕顔巻)	今井助教	教授
大学院	全 特講(平安朝後期の物語文学)	今井助教	教授
学部	国語学特講(万葉集の訓詁)福岡女子大	鶴	教授
学部	国文学臨講(白樺派の研究)早稲田大	紅野	教授

▼昭和45年度卒業論文題目

学部	古代語「ナス」についての考察 —その原義と接続について—	馬場	桂子
学部	漱石における擬音語・擬容語の特性	佐藤	英子
学部	木下長嘯子の作風論	津田	修造

明治以降の東京語における一、二、三音節名詞の
アクセント変化についての考察

新撰万葉集に於ける用字法の一側面

発心集の研究

源氏物語に於ける女房論からのアプローチ

万葉集の表現形式による三分類についての一考察

「心中天の網島」論

福田章二と庄司薫の狭間に

小林多喜二文学の史的意義

島尾敏雄論

岡本かの子文学に於ける命に関して

青柳種信伝の研究

太宰治作品研究

「心中天の網島」論

川柳の発想及び趣向

更級日記論

晶子短歌の文芸的評価の一段階

催馬楽とその発生

太宰治論

天雅彦物語の成立過程

有島武郎の思想的側面

—クロポトキンとの関係を中心に—

源氏物語末摘花の人物造型について

芥川龍之介の思想

—特に芸術観と人生観について—

森 節子

安田 博子

神矢 鈴子

庵原トモ子

古城 妙子

佐藤さちよ

中村悠樹子

長岡 晴美

早野美智子

増矢 和子

東 弘

飯田喜久子

石井 旭

衛藤 礼子

狩野 純子

吉村 容子

田吹 洋美

中村千賀子

南里みち子

野口みづゑ

箱田 篤子

長谷川恭子

イーハトウ童話「注門の多い料理店」 作品研究
「又このおとこ」考―へいちう像―
大学院

見山 葉子
倉光 絃一

狭衣物語についての研究
醍醐朝廷文学論序説
漢字における「和音」の研究

森下 純昭
工藤 重矩
田尻 英三

―類聚名義抄を中心として―
▼二十回西日本国語国文学会 昭和45年10月3・4日
於 福岡筑紫女学園短期大学

研究発表(本会会員関係のみ)
大江以言と紀音名 後藤 昭雄
齋宮女御集(伝本について) 西丸 妙子
「天正狂言本」の地方性 追野 虔徳
「ホリ」について 秋田 義昭
上代オ列音節の一二の問題 森山 隆
諸方言アクセント分派の時期 奥村 三雄
狩野文庫本「今はむかし物語」について 今井 源衛

▼新入会員歓迎会 昭和45年11月7日
本年度進学生八名を迎え、三日月荘にて歓迎を挙る。

源氏物語一
山城少掾文庫目録
武良温短歌集
武良温語録(哲人日誌)
天敵

▼卒業論文構想発表会 昭和45年12月1日 於 文学部会議室

松平文庫本源氏小鏡上・中・下
六花集の研究
在明の別
善本百選
中世文芸叢書別巻2
王朝文学の研究
越中の方言

受贈図書 45年4月〜46年3月(二)
祐徳神社本讃岐典侍日記
細川文庫本袖か、みーし五
松平文庫本うた、ね

今井 源衛
今井 源衛
今井 源衛

松平文庫本うた、ね
今井 源衛

今井 源衛
今井 源衛
今井 源衛

今井 源衛
三村 晃功
大槻 脩
天理ギャラリ
広島中世文芸研究会
今井 源衛
大田栄太郎
大田栄太郎
今井 源衛
文楽協会
千早 弥生
千早 弥生
秋吉久紀夫
今井 源衛
今井 源衛
今井 源衛
今井 源衛
稲田 浩子
中村 幸彦
国立国語研究所
斯道文庫
井上 豊
佐賀県立図書館
国立国会図書館
森田 芳夫

ニア文学10・12・13／薩摩路(鹿兒島大) 14／樟蔭国文学7／
 国文白百合(白百合女子大) 創刊号／語学文学(北海道教育大)
 8／文経論叢(弘前大) 5―3／語文(日本大) 32／鶴見女子
 大学紀要7／學術研究(早稲田大) 18／人文論究(北海道教育
 大) 30／紀要(名古屋大) 14／国文鶴見(鶴見女子大) 5／研
 究報告(岐阜大) 18／山口女子短期大学研究報告24／立命館文
 学27―301／言語と文芸(東京教育大) 70／龍谷大学論集392・393
 ／国文学攷(広島大) 51―54／国語国文学研究(熊本大) 5／
 論集(福島大) 21―2／国語国文学報(愛知教育大) 23／教養
 部論集(金沢大) 7／能楽思潮54・55／演劇研究(早大演劇博
 物館) 4／国語・国文学(釜山大学) 7―9／国学院大学紀要
 8／中世文芸(広島大) 46―48／文学科論集(鹿兒島大) 5／
 郷土資料(岐阜大) 1／研究年報(学習院大) 16／法経論集(静
 岡大) 26／大妻国文(大妻女子大) 1／跡見学園国語科紀要18
 ／成蹊国文3／国語国文研究(北海道大) 44・45／日本文学ノ
 ー卜(宮城学院女子大) 5／国語国文学(名古屋大) 25―27／
 国語国文学(岐阜大) 4／藤楓文芸2／武庫川国文2／成城文
 芸(成城大学) 56―59／研究集録(大阪大) 18／駒沢国文7・
 8／文芸研究(明治大) 22／語学文学研究(金沢大) 創刊号／
 文献ジャーナル(富士短大) 10―1・2／大阪府立大学紀要18
 ／言語文化(一橋大) 6／国文学論叢(龍谷大) 15／文芸研究
 (東北大) 63―65／高知大学學術研究報告(高知大) 18―15／
 研究紀要(甲南女子大) 6／北方文芸(助川徳是) 3―19／法
 政大学文学部紀要15／近代文学研究(法政大) 6／現象35／一
 橋研究19／国文学(関西大) 44／中央大学国文13／国語国文学

会誌(学習院大) 13／日本文学(関西学院大) 5／試論(甲
 南女子大) 16／国語国文論集(安田女子大) 1／共立女子大学
 紀要16／近世文芸(広島大) 47／日本文芸論稿(東北大) 3／
 日本女子大学紀要19／皇学館論叢3―1―3／日本文芸誌要法
 政大) 22／別府大学1―1／横浜国立大学人文紀要2―16／文
 林(松蔭女子大) 4／連歌俳諧研究(俳文学会) 37・38／法文
 学部論集(愛媛大) 2／紀要(学習院女子短大) 7／語文(日
 本大) 33／東北大学文学部研究年報20／文学會論集(甲南大)
 總目錄／高知大國文創刊号／日本文芸論集(山梨大) 2／逐次
 刊行物目錄(国立国会図書館) 43／人文学(同志社大) 116／国
 語国文(東海学園女子短大) 創刊号／センチ通信(東洋文庫)
 5／琉球方言(琉球大) 11／短大論叢(関東学院女子短大) 40・
 41／日本文学(東京女子大) 34・35／香椎潟(福岡女子大) 16
 ／国文研究(静岡女子大) 3／研究紀要(桐朋教育研究所) 12
 ／日本文学研究(帝塚山学院大) 2／文科報告(鹿兒島大) 6
 ／玉藻(フェリス女子学院大) 6／國際大学国文学1／国文学
 論考(都留文科大) 6／日本歌謡研究10／田唄研究(広島女子
 大) 13／王朝文学(東洋大) 17／立正大学人文学部研究所年報
 8／東海大学紀要13・14／国文学紀要(島根大学) 8／演劇学
 (早稲田大) 3／国文学論集(上智大) 4／国語国文学(別府大)
 12／方言研究年報(藤原与一) 13／紀要(東京成徳短大) 4／
 椋山女子学園大学研究論集1／日吉論文集(慶応大) 14／専修
 国文6―8／美夫君志14

洋一氏両氏に對する反論である。

六、以上の様な考証を旨としたものではなくて評論的なスタイルのものとして、枕草子の耽美的感覺性・主観性・和歌への関心について述べられた「枕草子の特質」、貴族的な美意識の体系からはみ出す原体験についても本能的に無関心でいられなかつた清少納言の豊かな感覺について述べられた「清少納言の美意識と体験」及び「仲文集試論」がある。「仲文集試論」は、仲文集―巧みな俳諧・虚構の要素、物語化が著しく贈答歌にも加虐性や道化が目立ち、乾いた笑いと冷たい目が特徴の―について物語研究者としての立場からの、新しい私家集の扱いとして異色ある論考である。

七、資料篇 いずれも新資料の紹介である。「幻中類林と光源氏物語本事」―天理図書館蔵「幻中類林」と松平文庫蔵「光源氏物語本事」の両書が同一書であることについての論考。「源氏のゆふだすき」と「源氏六十三首之哥」―松平本「豎横和歌」所収の「源氏のゆふだすき」、「源氏六十三首之哥」全文翻刻とその解説。「古注「大和物語鈔」考」―現存する季吟の「大和物語抄」以前の古注釈書四書、即ち高橋正治氏蔵(旧松平文庫蔵本)・内閣文庫本・国立国会図書館本・素行文庫本についての詳細にわたる説明。「枕草子の古注釈書―素行書写本について―」―素行筆、現存唯一の中世に成つた古注釈書「枕草子」についての解説。

本書を読み終えると、今更のようにその御論考の重厚さと精緻さと広さに圧倒される思いがする。そしてその多角的な御研究から、私共は数々の示唆を受ける。これを如何に研究の糧と

して得て行くかが私共後進に課せられた当面の問題であらう。

昭和四十五年十月十日角川書店刊

.....
受贈圖書 45年4月、46年3月(一)

徒然草通説批判

松平文庫本光源氏一部譚上・中・下

細川文庫本藤原義孝集

細川文庫本山家集

細川文庫本よるのつる

方言研究年報第11・12卷

遊子方言語形索引

松平文庫本慰草

太宰府天満宮蔵書目録

満州語国語基礎語彙集東京外大アジア、アフリカ言語文化研究所

善本写真集32・34

王期第二・三冊

岐阜大学教育学部郷土資料1

演劇博物館図書収蔵品目録15号

国立国語研究所報告35・37

芸能の科学

訓点語と訓点資料41・42輯

山鹿素行写大和物語抄

東北大学見本類

狩野文庫本大和物語上・下

祐徳神社蔵枕草子一、五

古活字十行本

井手 恒雄

今井 源衛

今井 源衛

今井 源衛

今井 源衛

奥村 三雄

奥村 三雄

三浦 三夫

太宰府天満宮文化研究所

天理図書館

王朝文学協会

岐阜大学教育学部

演劇博物館

国立国語研究所

東京国立文化財研究所

訓点語学会

今井 源衛

今井 源衛

今井 源衛

今井 源衛

今井 源衛